



森市長(東西道路整備推進期成同盟会会長)

「橋りょう部分が国の直轄事業とされたことによって東西道路全体の整備に弾みがつきました。平成23年度には開通できるよう強力に働きかけます」



国土交通省事務次官・佐藤信秋さん

「事業の選択と集中が国交省の方針です。昔、長生橋は5年余りで完成しています。今の人は仕事が遅いと言われないよう頑張ります」

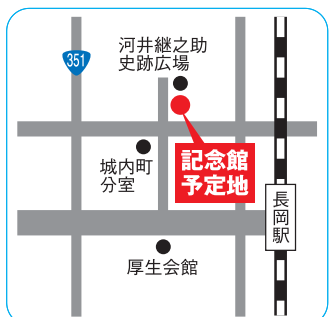


▲直轄事業化を機に開催された総決起大会。中越地域全体に活力を呼び込む東西道路の早期完成が待たれます。

幕末の長岡藩政を担った河井継之助。市では市制一〇〇周年・合併記念事業の一環として、継之助に関する資料を展示し、広く全国に向けて紹介する河井継之助記念館(仮称)を整備します。

有識者から成る「河井継之助記念館(仮称)展示及び運営検討委員会」では、館の運営方針や資料の展示方法について、検討を進めています。

長岡市が所有する資料だけでなく、民間所有の資料もできるだけ多くお借りして、時



河井継之助史跡広場  
記念館予定地  
城内分室  
厚生会館  
長岡駅

年内の開館を目指して、八月から長岡一丁目の河井継之助屋敷跡地にある建物の改修工事に入ります。

▲**岡都市計画課 ☎ 39・2225**

**長岡東西道路の早期完成に向け 600人が結集し 総決起大会を開催**

長岡東西道路は、長生橋や大手大橋の渋滞緩和や震災からの早期復興、さらに柏崎圏域との連携強化を図る重要路線として、整備が進められています。

大会には、六百人を超える市民をはじめ、来賓として国土交通省事務次官、新潟県選

出の国会議員や県議会議員などが出席。

参加者の意見発表では、「震災の復興には、災害に強い道路網の構築が不可欠。観光に携わる者にとっても東西道路の完成は、大きな力」など、早期開通に向けた力強いアピールが続きました。

長岡市民の三十年来の悲願、長岡東西道路の一日も早い完成に向け、国や県など関係機関に強く働きかけていくことを、満場一致で決議しました。

◇  
◇

▲**岡交通政策課 ☎ 39・2267**

**年内のオープンを目指して 河井継之助記念館(仮称)を整備します**

河井継之助記念館(仮称)展示及び運営検討委員会委員(50首順・敬称略)

【委員長】原 信一	長岡商工会議所副会頭
福川 明雄	郷土史研究家
内山 弘	長岡郷土史研究会顧問
川越壮之助	河井継之助を偲ぶ会会長
小島 義雄	元長岡市教育委員会委員長
下田 邦夫	与板地域委員会委員長
田中 愛子	書家

代背景や彼を支えた人々についても紹介し、継之助の人物像に迫る記念館にしていく方針です。

年内の開館を目指して、八月から長岡一丁目の河井継之助屋敷跡地にある建物の改修工事に入ります。

▲**岡都市計画課 ☎ 39・2225**



■ 3つの候補地の特性

候補地	特性
① 中心市街地	厚生会館地区の整備や大手通地区の再開発に合わせて庁舎を整備する ▶ 交通弱者の利便性が高い ▶ まちづくりの効果が大きい ▶ 空きビルの一部利用が可能 ▶ 現庁舎は老朽化が進む中央公民館などに転用可能
② 長岡操車場地区	長岡地域土地開発公社から用地を取得し、長岡操車場地区に庁舎を整備する ▶ 現庁舎は老朽化が進む中央公民館などに転用可能 ▶ 新たに庁舎用地を求める必要がある ▶ 車を使えない交通弱者の利便性が低い
③ 幸町地区(現本庁舎周辺)	現本庁舎の近くに第二庁舎を整備し、分散している機能を集約する ▶ 老朽化が進む中央公民館は別に建て替えが必要 ▶ 車を使えない交通弱者の利便性が低い ▶ 現本庁舎を使用しながらの耐震補強に多額の費用が必要

▲森市長が特例市同意依頼書を泉田知事へ

市は、県内第二の都市として、知名度のアップと行政基盤の強化を図るため七月十八日、特例市移行の同意を県に依頼しました。特例市は、高度な事務処理に必要とされる専門知識・技術を備えた組織を整備できると判断される都市に権限を移譲する制度。人口が二十万人以上であることが条件で、環境規制など二十四の法令に基づく事務を新たにを行うことができます。

平成十八年四月一日現在、群馬県前橋市や長野県松本市など全国で三十九市が特例市の指定を受けています。県庁で泉田県知事に同意の依頼書を手渡した森市長は「特例市になることで、より住民に身近な行政を実現できます」と語りました。今後、県議会での議決、国への申し出を経て、平成十九年四月の特例市への移行を予定しています。

**検討が進む市役所機能の再配置**

行政機能再配置検討市民委員会では、だれもが利用しやすい市役所を目指して、市役所機能の再配置先として、左図の三つの候補地が検討されています。

候補地にはそれぞれの特性があります。委員会による検討の視点は次の三点です。

◆だれにでも利用しやすい  
車を使う人だけでなく、車を運転しないお年寄りや障害のある人にとっても利便性が高い位置

◆市民サービスの向上  
合併して広がった市域のどこからでも利用しやすく、分

かりやすい位置

◆徹底的な節約  
再配置に伴い不要となる土地の売却、まちづくりのための国の補助金活用、空きビルの利用などにより、最大限の節約を図ることができ

委員会では、これまでの検討結果を集約し、中間報告として市長に報告する予定です。

◇  
◇

▲**岡行政管理課 ☎ 39・2208**

**再配置案・3つの候補地とこの特性**

来年4月の特例市移行の同意を県知事に依頼